

平成28年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

教育	1	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」: 前学期。「環境法概論」の講義を行った。(三谷 晋 准教授)
	2	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」: 後学期。「環境法概論」の講義を行った。(三谷 晋 准教授)
	3	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」: 前学期。環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。(三井 栄 教授)
	4	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」: 後学期。環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。(三井 栄 教授)
	5	【授業】地域科学部「地域研究入門」: 前学期。法はただ遵守すべきものではなく、自ら創造するものであるという視点から、私人・地域による環境法創造をテーマに7月8日に講義を1回担当し、7月15日にパネルトークを1回実施した。(三谷 晋 准教授)
	6	【授業】地域科学部「地域研究入門」: 前学期。「環境と経済学が果たす役割」の講義を行い、環境政策の役割やその効果、環境経営と企業の取り組み、家計における環境への配慮などについて考察を行った。(三井 栄 教授)
	7	【授業】地域科学部「地域学実習」: (食の安全・安心に配慮した農産物の生産/直売を行う農業者および朝市利用者への調査)を、学生とともに、「パルコde朝市」関係者の会合(エフスリー協議会・定例会)において報告した。12月13日、ホテル第2スポーツパルコ。(林 琢也 准教授)
	8	【授業】地域科学部「化学実験」、「化学演習」、「微分方程式」、全学共通教育「教養の化学(化学概論)」: 廃液等の処理、自然環境中での生物数の変化の数理など環境問題に関しての教育内容を含んだ授業を行った。(和佐田 裕昭 教授)
	9	【授業】地域科学部授業「化学 I」: 環境問題を引き起こす化学物質に関する基礎について、量子論の観点から講義した。(和佐田 裕昭 教授)
	10	【授業】地域科学部「化学実験」、「化学演習」、「微分方程式」、全学共通教育「教養の化学(化学概論)」: 廃液等の処理、自然環境中での生物数の変化の数理など環境問題に関しての教育内容を含んだ授業を行った。(橋本 智裕 准教授)
	11	【授業】地域科学部「微分方程式」: 自然環境中での生物数の変化の数理など環境問題に関しての教育内容を含んだ講義を行った。(神谷 宗明 准教授)
	12	【授業】地域科学部「専門セミナー」: 一部で環境問題に関する内容の教育を行った。(和佐田 裕昭 教授)
	13	【授業】地域科学部「専門セミナー」: 獣害問題、資源利用といった里山地域の保全につながる土地利用のあり方についてフィールドでの演習を行った。また、ゼミ生が卒業論文研究として駆除された鳥獣の加工や流通をテーマに取り上げた。(山口 未花子 助教)
	14	【授業】地域科学部「専門セミナー」、「農村振興論」: 環境保全と観光開発に係る問題や住民の環境意識、エコツーリズム、グリーン・ツーリズム、環境保全型農業・有機農業等に関する内容を取り扱った。(林 琢也 准教授)
	15	【授業】地域科学部「専門セミナー」: 岐阜市長良地区において「ぎふクリーン農業」を実践する生産者の圃場(ブドウ園)にて援農活動を行った。(林 琢也 准教授)
	16	【授業】地域科学部「専門セミナー」、「都市環境工学特論」: 前学期。都市における環境問題を取り上げ、それらの発生するメカニズムや問題点等について講義した。(十二村 佳樹 准教授)
	17	【授業】地域科学部「専門セミナー」、「都市環境工学」: 後学期。都市における環境問題を取り上げ、それらの発生するメカニズムや問題点等について講義した。(十二村 佳樹 准教授)
	18	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」: 前学期「生物多様性と環境」の講義を行った。(向井 貴彦 准教授)

平成28年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

教育	19	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:後学期「生物多様性と環境」の講義を行った。(向井 貴彦 准教授)
	20	【授業】地域科学部「生物学I」:後学期。環境問題を理解する基礎となる生物学について、生物の多様性、遺伝子、進化などの重要な項目を講義で詳しく説明した。(向井 貴彦 准教授)
	21	【授業】地域科学部「動物生態学」:後学期。環境問題を理解する上で必須となる生態系の構造、機能、生物間相互作用などについて講義した。(向井 貴彦 准教授)
	22	【授業】地域科学部「環境保全論Ⅱ」:後学期。環境問題についての具体的な事例をもとに、その原因、解決のための取り組みなどを多角的に、また野外での見学などを含めて講義した。(向井 貴彦 准教授)
	23	【授業】地域科学部「専門セミナー」:前学期。野生生物の生態、遺伝的多様性、絶滅危惧種の保全、外来種問題などについての講義と、学生自身による課題設定と学習を行った。(向井 貴彦 准教授)
	24	【授業】地域科学部「専門セミナー」:後学期。野生生物の生態、遺伝的多様性、絶滅危惧種の保全、外来種問題などについての講義と、学生自身による課題設定と学習を行った。(向井 貴彦 准教授)
	25	【授業】地域科学部「卒業研究」:後学期。岐阜県内の河川に生息する淡水魚の分布や、外来種のヌートリアの生態についての卒業研究を指導した。(向井 貴彦 准教授)
	26	【授業】地域科学部「地域学実習」:関ヶ原町と連携し、地域学実習として、「子育て世代の労働・生活実態とまちづくりに関する聴き取り調査」を行った。3月末に、報告書を関ヶ原町に提出した。(高木 和美 教授)
	27	【授業】地域科学部「専門セミナー」:郡上市和良町の和良おこし協議会と連携し、林琢也研究室主催の2016年度卒業論文発表会「楽習会in和良」を和良おこし公民館において実施し(3月16日)、研究室の4年生4名に卒業研究の成果について研究発表してもらったとともに、地域おこし団体や地元住民の方々と地域づくりや地域活性化、観光振興のあり方について議論した(3月24日の岐阜新聞(中濃地域版)に関連記事掲載)。(林 琢也 准教授)
	28	【授業】地域科学部「専門セミナー」:岐阜市と各務原市の銭湯(公衆浴場)経営者、岐阜県公衆浴場業生活衛生同業組合と連携し、林琢也研究室主催の「銭湯の活性化」ワークショップを地域科学部H棟地11講義室において実施し(1月24日)、地方都市における銭湯経営の現状と今後の方策について、学生(セミナー生)と経営者の間で意見交換し、今後の展開可能性について議論した。(林 琢也 准教授)
	29	【学外授業】10月20日に益田清風高校(下呂市)で「地域の自然を活かしたまちづくりを考える」と題した環境問題に関する出前講義を行った。(向井 貴彦 准教授)
	30	【学外授業】10月27日に高蔵寺高校(愛知県春日井市)で「地域の自然を活かしたまちづくりを考える」と題した環境問題に関する出前講義を行った。(向井 貴彦 准教授)
	研究	31
32		【学外授業】高校生のための街なかオープンカレッジinメディコス:地元の魅力を若い世代に知ってもらい、まちづくりに参画する人財づくりを念頭において開催した。主催は岐阜大学地域科学部、岐阜市立女子短大、岐阜経済大学。後援は岐阜県、岐阜市。(三谷 晋 准教授)
33		【学外授業】「高校生のための街なかオープンカレッジ2016in東美濃——東濃を学ぶ:馬籠宿の観光とまちづくり」:10月16日開催。事前打ち合わせは6月24日中京学院大学にて、参加者は他に岐阜大学地域科学部富樫、三谷、中京学院大学須栗他、恵那市職員、中津川市職員、恵那高等学校教諭。岐阜大学地域科学部・岐阜市立女子短大・中京学院大学主催。後援は中津川市、恵那市、岐阜県。(三谷 晋 准教授)
1	【研究】COC「地域志向学プロジェクト」研究プロジェクトB「地域文化を生かした野生動物資源の持続可能な利用に関する文理連携型研究」(研究代表者):野生動物を保全管理しながら、地域の魅力の一つとして利用する仕組みを作るため、狩猟採集文化研究所(揖斐川町)を拠点として、ジビエ解体・加工会社や町なども協力しながら狩猟技術や捕獲した動物の利活用についてフィールド調査をするともに、一般市民にむけたワークショップや講演会を開催し、希望する学生にも参加してもらった。(山口 未花子 助教)	

平成28年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

研究	2	【研究】平成28年度COC「地域志向学プロジェクト」「地域資源の保全と地域振興:乗鞍を活かした地域活性化策に関する調査研究」(研究代表者):高山市乗鞍スカイラインでは平成15年の車両乗入規制前後で訪問者数が大きく減少しており、地域経済へのマイナスの影響が懸念される。そこで、環境負荷が少ない限定的な電気自動車の乗入れといった規制緩和の効果や自転車来訪者数の増加策に関する調査研究を行った。研究成果として「乗鞍岳を活かした観光振興策に関する考察:サイクルヒルクライムの事例より」が日本都市学会年報に掲載された(査読付論文Vol.49、28年5月発行)。(三井 栄 教授)
	3	【研究】「太陽光発電の普及を考慮した都市形態と交通システムの最適化の研究」:研究の中間成果の一部を7月に中国武漢で開催された国際会議International Workshop on Integrated Land Use Transport Modelingにおいて発表した。(應 江 野 教授)
	4	【研究】「都市における「農」のあり方に関する研究」(科学研究費補助金:若手研究(B)研究代表者として):市街化区域内の農業や農地のあり方、環境に配慮した農業経営、隣接する農地での農作業に対する都市住民の意識について調査・研究を行った。(林 琢也 准教授)
	5	【研究】「経済地理学会・中部支部4月例会」:上述の「都市における「農」のあり方に関する研究」に関連する研究成果を発表した。4月23日、うかいミュージアム。(林 琢也 准教授)
	6	【研究】「都市近郊農村とブドウ産地の狭間でー岐阜市長良地区にみる都市農業とアグリ・ツーリズムの諸相ー」:研究発表を県内の自治体職員と行っている「地方自治政策研究会」(岐阜市役所)において実施した。4月22日。(林 琢也 准教授)
	7	【研究】環境適応都市に関する研究:環境問題に適応する都市をテーマとした研究に取り組んだ。(十二村 佳樹 准教授)
	8	【研究】「国内および東アジアからの淡水魚の移入による影響実態と在来遺伝子資源の保全及び復元」(科学研究費補助金:基盤研究(A)研究代表者として):国内及び近隣国からの淡水魚の人為的移殖によって、日本の在来淡水魚の遺伝的攪乱がどの程度進行し、地域性が失われているのかという現状を解明し、保全と復元の手法を検討する研究を行った。(向井 貴彦 准教授)
	9	【学会等】2016年度日本魚類学会年会:9月23日～26日に岐阜大学にて開催。(向井 貴彦 准教授)
	10	【審議会等】岐阜市自然環境保全推進委員会(岐阜市):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
	11	【審議会等】加茂地区生物多様性基礎調査(美濃加茂市):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
	12	【審議会等】岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会魚類専門部会(岐阜県):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
	13	【審議会等】愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会(愛知県):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
	社会連携	1
2		【メディア出演】市民ラジオ放送「てにてをラジオ」(メディアコスモス内)の番組「やさしさ発見 けんぼう探検」に出演。(近藤 真 教授)
3		【メディア出演】市民ラジオ放送「てにてをラジオ」(メディアコスモス内)の番組「やさしさ発見 けんぼう探検」:5月22日「ウシモツゴを守る」をテーマにして出演。(向井 貴彦 准教授)
4		【メディア出演】郡上ケーブルテレビの番組「郡上を知ろう」の「はごこが生きる里～清流の生き証人～」2月5日放送に出演。(向井 貴彦 准教授)
5		【講演】長野市において地域の自然環境と絶滅危惧種のシナイモツゴの保全活動を行っている「ぼんすけ育成会」のシナイモツゴ観察会に参加し、講演を行った。7月2日、長野市で開催(6月25日付信濃毎日新聞に関連記事掲載、7月2日の地域ラジオで放送)。(向井 貴彦 准教授)

平成28年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名： 地域科学部

社会  
連  
携

6	【講演】中濃地区の視覚障害青年等社会生活教室において、「長良川のアユと魚たち」と題して長良川の環境とアユなど淡水魚の生態などについて講演した。7月10日、関市。(向井 貴彦 准教授)
7	【講演】和良おこし協議会と和良振興事務所主催のトークイベントにおいて、水中写真家の伊藤義弘氏とともに「オオサンショウウオと和良川のいきものたち」と題して和良川の環境とオオサンショウウオの生態について講演した。7月23日、郡上市和良町。(向井 貴彦 准教授)
8	【講演】長良川うかいミュージアム主催の市民講座において、「『清流長良川の鮎』世界農業遺産認定記念～身近な里の魚たち～」をテーマに水辺の環境と淡水魚についての講演を行った。8月11日、岐阜市うかいミュージアム。(向井 貴彦 准教授)
9	【講演】講演活動：NPO法人東海自然学園「東海シニア大学」の受講生を対象に「魚を通して自然の姿を考える」というテーマで水環境についての講演を行った。8月23日。(向井 貴彦 准教授)
10	【講演】和良おこし協議会主催のオオサンショウウオ観察会「はざこ探検隊」に参加し、オオサンショウウオの生態と和良川の環境について講演した。8月26日、郡上市和良町。(向井 貴彦 准教授)
11	【講演】市民団体によるアウトドアイベント「長良川DAY」において、参加者の親子連れ対象に「アユだけじゃないよ！ 美味しくてきれいな長良川の魚たち」と題して淡水魚と川の環境についての講演を行った。9月3日、郡上市美並町。(向井 貴彦 准教授)
12	【講演】岐阜市主催の「2016年度第1回岐阜市生物多様性シンポジウム」において「希少種の保全」について講演し、トークセッションの「みんなで考える生物多様性プランの今後の進め方」に登壇した。9月19日、岐阜市メディアコスモス。(向井 貴彦 准教授)
13	【講演】関市西部地区青少年健全育成協議会主催の「各務用水自然観察会 & ふるさとの秋を味わう会」で農業用水路の淡水魚について講演した。10月1日、関市。(向井 貴彦 准教授)
14	【講演】岐阜市主催の「学生環境会議」において、参加者の大学生・高校生を対象に「生物多様性」について講演を行い、グループディスカッションの講評などを行なった。11月3日、岐阜市メディアコスモス。(向井 貴彦 准教授)
15	【講演】岐阜市主催の「2016年度第2回岐阜市生物多様性シンポジウム」においてトークセッション「しぜんの恵みと生物多様性」に登壇した。11月3日、岐阜市メディアコスモス。(向井 貴彦 准教授)
16	【講演】にしんわいわいフェスティバルにおいてESD特別講座「ウシモツゴってどんな魚？」と題して、日進市に生息する絶滅危惧種のウシモツゴと、その生息する里山環境の重要性について講演した。12月3日、日進市市民会館。(向井 貴彦 准教授)
17	【講演】第6回乗鞍フォーラムにおける上記の社会実験の事業報告とパネルディスカッション「魅力あふれる乗鞍を再発見！ ～どう守り、どう磨き！？～」でコーディネーターを務めた。12月4日(中日新聞、読売新聞に関連記事掲載)。(三井 栄 教授)
18	【講演】一般市民向け連続講座寺子屋シネマにて「カナダ先住民カスカと動物たちの話」と題し、カナダ先住民カスカの狩猟活動を中心とした自然資源利用の文化について講演した。5月7日、揖斐川町善立寺。(山口 未花子 助教)
19	【講演】北方文化博物館の展示「ボレアルフォレストの狩猟民アサバスカ・インディアンの暮らし展」関連企画として、「ユークンの先住民カスカの狩猟文化と世界観」と題し、アサバスカン諸族であるカスカの狩猟文化について講演した。3月19日、北海道立北方民族博物館。(山口 未花子 助教)
20	【講演】30年間の原子力発電所で働く労働者とその家族、原子力発電所のある地域住民の労働環境、地域生活環境に関わる調査研究をベースに講師を務めた(NGO被ばく労働ネット運営会議主催の学習会)。6月3日、東京。(高木 和美 教授)
21	【講演】30年間の原子力発電所で働く労働者とその家族、原子力発電所のある地域住民の労働環境、地域生活環境に関わる調査研究をベースに講演した(彦根・愛知・犬上原発のない社会をつくる会主催の公開講座)。9月24日、彦根市。(高木 和美 教授)
22	【講演】30年間の原子力発電所で働く労働者とその家族、原子力発電所のある地域住民の労働環境、地域生活環境に関わる調査研究をベースに講演した(元原発労働者労災訴訟の弁護団と市民による支える会主催の公開講座)。1月16日、福岡市。(高木 和美 教授)
23	【審議会等】岐阜市屋外広告物審議会：2月17日。(三谷 晋 准教授)

平成28年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名： 地域科学部

社会連携	24	【審議会等】NPO岐阜環境カウンセラー協議会委員(22.5.12.~29.3.31):委員会は学識経験者、県、市、NPO団体、県中小企業団体中央会等の方々10名程で構成され、主にエコアクション21地域事務局ぎふの運営に関する議論を行った。開催日6月6日。(三井 栄 教授)
	25	【審議会等】岐阜市環境審議会委員(23.1.1.~29.12.31):岐阜市におけるごみ減量・資源化の具体的施策に関する計画をはじめ環境基本計画に関する目標の点検やその評価等に関する議論を行った。昨年度と重複は会長として議事進行も行っている。今年度前半の開催日5月24日。今年度後半の開催日10月26日、12月26日。12月には審議会終了後に岐阜市の杉一般廃棄物最終処分場の視察を行った。(三井 栄 教授)
	26	【審議会等】岐阜市基盤整備部指定管理者選定委員会:委員長(JR岐阜駅、JR岐阜西駅、名鉄新岐阜駅周辺駐輪場)(高木 和美 教授)
	27	【研究会等】乗鞍社会実験研究会:今年度は、自転車による来訪者を対象に観光振興策として小型自動販売機を用いた社会実験:クーポン付きガチャガチャ事業の検討を行った。ガチャガチャ設置においてカプセル内に乗鞍登頂の記念品缶バッジ・山頂の飲食等に使用できるクーポン・自転車走行のマナー啓発チラシを入れることにより、観光振興に併せて、入山協力費徴収の可能性を模索した。今年度前半の開催日6月3日、6月17日、7月29日。今年度後半の開催日10月21日、1月13日。(三井 栄 教授)
	28	【研究会等】岐阜地方自治政策研究会における活動:岐阜市、岐阜県等の自治体職員と地域科学部政策講座の教員が中心となって開催している研究会。地域科学部からは、政策講座の近藤、富樫、山本、林、三谷が参加。4月22日、5月13日、6月17日、10月3日、11月14日、2月6日に実施。(三谷 晋 准教授)
	29	【研究会等】岐阜愛知政策法務研究会における活動(顧問として):岐阜・愛知の公務員、弁護士、研究者らの政策法務に関する研究会。4月23日岐阜大学サテライトキャンパス、5月28日第一法規(株)東海営業第一部・営業第二部(名古屋)、6月19日岐阜大学サテライトキャンパス、7月16日・17日第22回全国自治体法務合同研究大会・春日井大会、12月17日岐阜大学サテライトキャンパス、2月18日岐阜大学サテライトキャンパスにおいて実施。(三谷 晋 准教授)
その他 (運営面等)	1	【教職員】教職員に対して、環境や省エネに関する「監視記録(チェックシート)」の報告を四半期毎に実施して、学部内での自己啓発を進め、より効果的な環境保全と省エネに取り組んだ。
	2	【教職員】休憩時間における消灯、講義室の消灯・空調確認、裏紙活用など資源の再利用を促進し、省エネルギーの取り組みを行った。
	3	【教職員】不要物品の再利用など廃棄物の削減を図った。